

山梨県口腔の健康づくり推進計画 最終評価【概要】

全体目標

県民一人ひとりの生涯にわたる口腔の健康づくりを推進することにより、口腔の健康に関する格差の縮小を図り、すべての県民が心身ともに健やかで心豊かな生活ができる社会の実現

- 【計画期間】 平成26年度～令和5年度(10年間)
- 【計画の趣旨】 口腔の健康づくりに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため必要な事項を策定
- 【計画の位置づけ】 歯科口腔保健の推進に関する法律第13条第1項に基づく計画
*「健やか山梨21(第2次)」 「山梨県地域保健医療計画」 「第2次やまなし食育推進計画」 「山梨県がん対策推進計画(第2次)」 と調和

基本方針

各目標の最終評価

令和5年9月 現在

項目	ベースライン	現状値	目標値	評価
むし歯のない3歳児の割合の増加	71.7%	87.6%	90%	B
1歳6か月児の仕上げ磨きをする親の割合の増加	73.6%	70.0%	75%	C
全く治療していない3歳児の割合の減少	14.4%	9.3%	減少	A
12歳児における永久歯の1人平均むし歯等数の減少	1.8歯	0.8歯	1.0歯以下	A
むし歯のない12歳児の割合の増加	45.1%	67.5%	65%	A
12歳児におけるむし歯多発者(5歯以上)の割合の減少	—	1.8%	減少	E
小・中学校の給食後の歯みがきの実施率の増加	—	小学校 25市町村 中学校 20市町村	増加	E
中学生(12歳)における歯肉に炎症所見を有する者の減少(参考指標として)	3.1%	5.3%	減少	C
高校生(17歳)における歯肉に炎症所見を有する者の減少(参考指標として)	5.8%	8.8%	減少	C
喫煙をする者の割合の減少	21.2%	15.7%	13.9%	C
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	26.0%	36.1%	25%	C
40歳代における歯周病に罹患している者の割合の減少	42.3%	57.9%	25%	D
40歳で喪失歯のない者の割合の増加	62.7%	71.9%	75%	C
40歳で未処置歯を有する者の減少	46.0%	25.5%	10%	B
60歳代における歯周病に罹患している者の割合の減少	61.1%	74.1%	45%	C
口腔機能の維持・向上(60歳代における咀嚼良好者の増加)	74.7%	73.6%	80%	D
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	66.5%	80.1%	80%	A
60歳で未処置歯を有する者の減少	35.1%	20.6%	10%	C
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	41.4%	61.1%	60%	A

介護老人福祉施設、介護老人保健施設等における定期的な歯科検診実施率の増加	30.6%	55.6%	増加	A
障害(児)者入所施設における定期的な歯科検診実施率の増加	69.6%	87.0%	増加	A

妊婦歯科健診を実施する市町村の増加	9市町村	16市町村	増加	A
むし歯のない3歳児の割合が80%以上である市町村の増加	6市町村	24市町村	増加	A
12歳児における永久歯の1人平均むし歯等数1.0歯以下の市町村の増加	19市町村	20市町村	増加	A
口腔機能の評価を含む、後期高齢者歯科健診を実施する市町村の増加	3市町村	14市町村	増加	A
歯周疾患検診を実施する市町村の増加	16	20	増加	A
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	43.9%	56.8%	65%	B
歯科検診を実施している事業者の増加	32	54	増加	A
訪問歯科診療を行う歯科医師数の増加	48人	46人	90人	D
災害に備えた歯科口腔保健対策を実施している市町村の増加	22	26	増加	A
歯科保健に関する目標値を設定している市町村の増加	17	25	増加	A
糖尿病に係わる医科歯科連携の協力歯科医師数の増加	121人	201人	増加	A

歯科疾患の予防

施策・取組

生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

施策・取組

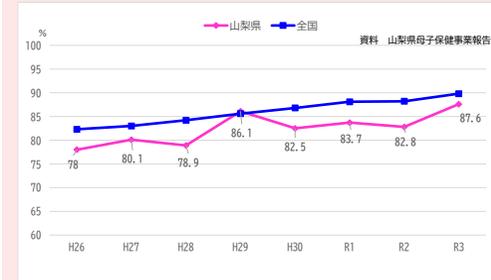
定期的に歯科検診等を受けることが困難な者への歯科口腔保健対策

口腔の健康づくりに必要な体制の整備

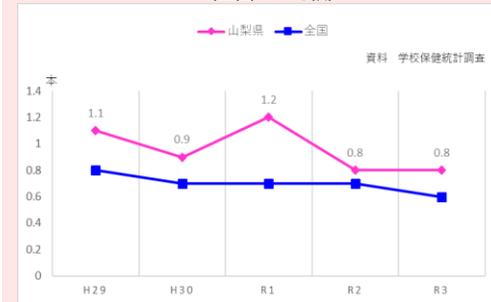
施策・取組

山梨県民の口腔内状況

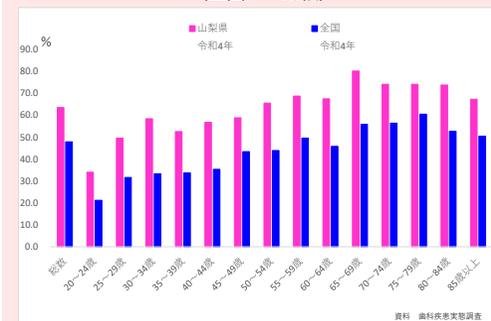
むし歯のない3歳児の割合(全国との比較)



12歳 永久歯一人あたり平均むし歯等数(全国との比較)



歯周ポケットが4mm以上の成人の割合(全国との比較)



口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小